

所属	看護学部看護学科	職位	准教授	氏名 (学位)	工藤安史 博士(医学) 修士(経済学)	
所属学会	日本公衆衛生学会 日本産業衛生学会 日本総合健診医学会 日本産業看護学会 など					
専門領域	医療経済学 公衆衛生学 疫学・保健統計学					
研究テーマ	看護マネジメント 高齢者雇用の促進 新型コロナウイルス感染症対策 産業保健の円滑化 など					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む)	担当科目に関する様々なテーマ(例えば、疫学、保健統計、母子保健、感染症、産業保健、地域保健、食品衛生、国際保健など)について、講義用のレジメを独自に作成している。医療系の学生の場合、国家試験に合格する必要があるため、様々な専門職の国家試験の過去問を参考にして、練習問題を作成し、レジメに組み込んでいる。					
2 作成した教科書、教材、参考書	<p>「地域包括ケアシステムのすすめ これからの保健・医療・福祉」における「第2章の1 統計からみた日本の人口構成の推移」の執筆を担当。ミネルヴァ書房 2016年出版 p.29-32</p> <p>「ストレス百科事典」のうち、次のテーマを翻訳。「失業、ストレスおよび健康 (p.1134-1139)」および「ワーク・ライフ・バランス (p.2803-2805)」、丸善出版、2010年出版</p>					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	看護学生および医学部生を対象に、学生の学ぶ意欲や倫理観を高めるための調査を実施し、得られた知見を論文にすることで、社会に還元している。これらの論文は、全てインパクトファクターを有する国際学術誌に掲載されていることから、世界中の大学教員に向けて情報を発信している。					
4 その他教育上特記すべき事項	本学のキャリア支援委員会(国家試験対策や就職対策などを推進する委員会)の委員として、成績不良者への面談や補講講義を行い、学生の学習意欲の向上や学力向上のための活動に力を入れている。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌(および巻・号)	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	頁数
1. 学術論文	Job satisfaction and intention to remain on the job among Japanese nursing assistants	共著	2019年11月	J Rural Med, 14	Y Kudo, T Toyoda, R Terao, S Suzuki, and A Tsutsumi	181-190
2. 学術論文	我が国の労働者の新型コロナワクチンに対する意識と新型コロナワクチンを接種する動機づけとの関連性	共著	2021年9月	労働安全衛生研究, 14	工藤安史、後藤由紀、柿原加代子、吉田和枝、榎本喜彦、森智子、河野啓子、堤明純	129-139
3. 学術論文	Predictors associated with the mental health of Japanese male registered nurses: focusing on environments with many female registered nurses and female patients' refusal to accept nursing services from male registered nurses	共著	2021年11月	J Rural Med, 16	Y Kudo, T Toyoda, R, N Sugimoto, and A Tsutsumi	191-199

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年 月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
4. 学術論文	わが国の労働者における新型コロナウイルス感染症の検査を受ける動機づけに関連する因子	共著	2021年12月	厚生指針, 68	工藤安史、後藤由紀、柿原加代子、吉田和枝、榎本喜彦、森智子、河野啓子、堤明純	1-8
5. 学術論文	Facilitating the acceptance of employment of older registered nurses among Japanese female registered nurses younger than 65 years old	共著	2022年7月	J Rural Med, 16	Y. Kudo, and T Toyoda	108-117
6. 学術論文	Factors associated with the acceptance of employing nursing assistants aged 65 and older among those younger than 65 years old 紙面が限られているため、近年の研究業績のうち、一部を掲載している。	共著	2023年4月に掲載予定	J Rural Med, 18	Y. Kudo, and T Toyoda	In press

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年 月	学会名等
Competencies of occupational health nurses in Japan	共著	2018年5月	The 32th ICOH International Congress, Dublin, Hatanaka J, Kono K, <u>Kudo Y</u> , Goto Y, Nakagami K

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2015年度から	四日市看護医療大学看護医療交流センターの事業として、2015年度から臨床家を対象とした統計学セミナーの講師を担当している。2023年度のセミナーは、10月15日(土)にZoomを用いて実施した。主な参加者は、三重県、愛知県、岐阜県の看護師および臨床検査技師であった。このセミナーでは、最初に、平均と標準偏差、度数分布表、グラフの種類などの統計学の様々な基礎知識について解説を行った。その後、基礎知識への理解を深めていただくために、独自に作成した練習問題の解説も行った。参加者の人数は、232名であった。